

**TOMOWEL**

共にある、未来へ

# BUSINESS REPORT

第**140**期 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

共同印刷株式会社

証券コード:7914

# 株主の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまおよび影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復と、感染被害の早期収束をお祈り申し上げます。

印刷業界では、紙媒体の需要減少に加え、単価下落や原材料価格の高騰など、依然として厳しい経営環境が続いています。こうしたなか共同印刷グループは、売上拡大とともに持続的な成長を可能にする事業基盤の強化に取り組んでまいりました。その結果、当期の業績につきましては、売上高・利益ともに前期を上回り、増収増益となりました。

なお、当期の期末配当金は1株につき50円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき100円とさせていただきます。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、先行き不透明な事業環境下での経営を余儀なくされますが、市場の変化に柔軟に対応するとともに、当グループの総力を挙げて目標達成に向けて取り組んでまいります。情報系事業では、お客さまの潜在的な課題を解決するサービスメニューを拡充するとともに、デジタルとアナログを融合した顧客体験重視の総合提案により受注拡大を図ります。さらに、法人向けプリペイドカードサービスによる決済ソリューション事業など、既存の枠組みにとらわれないビジネスモデル構築を目指します。生活・産業資材系事業では、和歌山工場の新棟に続き、インドネシアのカラワン新工場が竣工し、チューブ製品の生産が開始されました。国内外での生産能力強化を背景に、化粧品チューブを中心とした拡販を進めてまいります。また軟包装関連では、守谷第一工場において食品安全マネジメントシステムの国際規格「FSSC22000」認証を取得したほか、再封機能を備えたカップ用リシール蓋材など消費者の利便性を高める製品の開発にも注力しています。今後も生産体制の信頼性向上とともに、消費者の安全・安心と満足度に貢献する高付加価値製品の提供に努め、売上拡大を図ってまいります。

当グループは、コーポレートブランド「TOMOWEL」のもと、これからも印刷にとどまらない領域へ事業を拡げ、豊かな未来を目指して挑戦し続けます。

株主の皆さまにおかれましては、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 藤森康彰



売上高

100,858百万円

(前期比3.1%増)

営業利益

1,569百万円

(前期比52.8%増)

経常利益

2,163百万円

(前期比23.7%増)

親会社株主に帰属する

当期純利益

1,509百万円

(前期比36.6%増)

## TOMOWEL

### 共にある、未来へ

TOMOWEL(トモウェル)は「共に良い関係を築く」という意味を込めて名付けられました。

日本語の「とも(共・友・知・智)」と、英語の「WEL(Wellの古語:良い・満ちる・親しみ)」を合わせて創った言葉です。

共生、友愛、知識、智恵など人間本来の良さや能力を結集して、充実した「豊かな世界」を実現していくという想いを込めています。

ブランドロゴのデザインコンセプトは、人間・未来・意志の強さ・高品質・高精度です。

コーポレートメッセージである「共にある、未来へ」に、私たちの想いを凝縮しました。

「共(とも)」は、共同印刷の「共」でもあります。

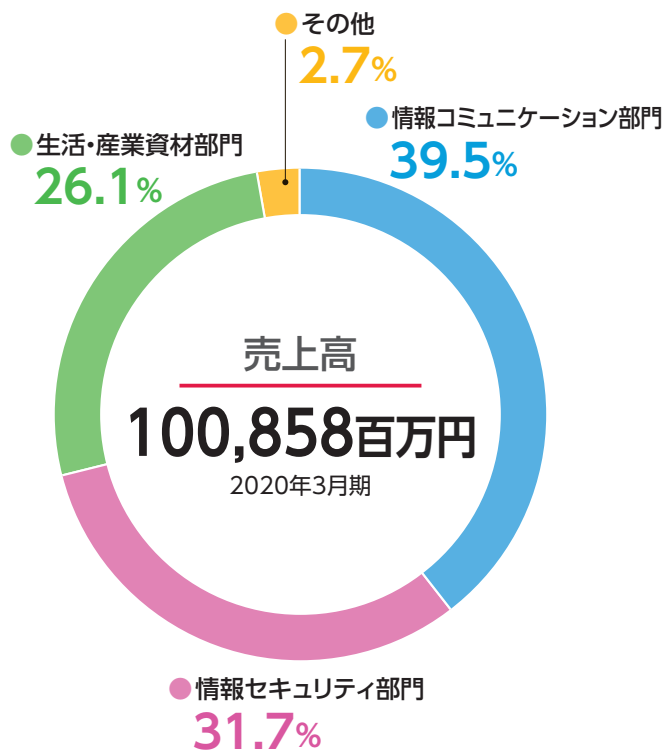
私たちのアイデンティティの核であり、社会における存在価値、そして理想の姿勢を表す言葉であり、創り出したい未来そのものです。

「関わるすべてと共に良い関係であり、未来を創り拓げていく」

TOMOWELに込めた私たちの想いです。



# セグメント別概況(連結)



## ● 情報コミュニケーション部門

取扱品目：定期刊行物、書籍、一般商業印刷、電子書籍



売上高 (百万円)

39,168      39,815

2019年3月期      2020年3月期

連結売上高

**39,815百万円**

(前期比1.7%増)

営業利益

**97百万円**

(前期は営業損失828百万円)

出版印刷では、電子コミックの配信が増加しコミックスの単行本など書籍も増加しましたが、定期刊行物が大幅に減少しました。一般商業印刷では、共同日本写真印刷(株)の貢献もありカタログや情報誌、パンフレットが増加しました。その結果、部門全体で増収となり、生産体制の最適化による固定費削減により利益も増加しました。

## ● 情報セキュリティ部門

取扱品目：ビジネスフォーム、データプリント、BPO、通帳・証券類、各種カード、決済ソリューション事業



売上高 (百万円)

31,165      31,965

2019年3月期      2020年3月期

連結売上高

**31,965百万円**

(前期比2.6%増)

営業利益

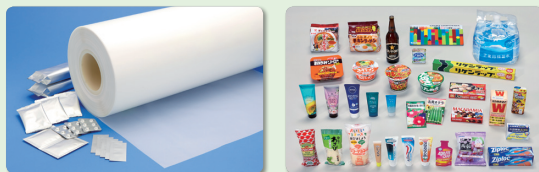
**1,475百万円**

(前期比4.5%増)

抽選券・乗車券等の証券類は前期並みとなりましたが、官公庁や金融関連および資格試験等を実施する団体からのデータプリント・BPOや、健康診断関連などヘルスケア分野のBPOが増加し、交通関連をはじめとするICカードも増加しました。その結果、部門全体で増収増益となりました。新規事業として2019年11月に法人向け決済ソリューション事業を立ち上げ、現在、事業拡大に取り組んでいます。

## ● 生活・産業資材部門

取扱品目：紙器、軟包装、チューブ、建材、金属印刷、高性能製品



売上高 (百万円)

25,270      26,338

2019年3月期      2020年3月期

連結売上高

**26,338百万円**

(前期比4.2%増)

営業損失

**373百万円**

(前期は営業利益208百万円)

チューブでは、和歌山工場新棟およびカラワン工場が竣工し、生産力を強化しました。UV製品等の化粧品向けや歯磨き向けの受注が順調に増加しています。軟包装では、各種フタ材および液体用包材の受注拡大に注力し、前期を上回りました。2019年11月には(株)クレハから買収したブローボトル事業が本格稼働を開始しました。その結果、部門全体で増収となりましたが、固定費の増加により減益となりました。

## ● その他

取扱品目：不動産管理、物流業務



売上高 (百万円)

2,178      2,739

2019年3月期      2020年3月期

連結売上高

**2,739百万円**

(前期比25.7%増)

営業利益

**324百万円**

(前期比12.3%減)

物流業務は減少したものの偽造防止関連製品の受注増により部門全体で増収となりました。首都圏物流センターの事業拡大に向けた投資を行ったため、利益は減少となりました。

# ニュース&トピックス

## AI技術で過去のまんが電子書籍画像を高解像化「eComicSR™(イーコミックエスアール)」を開発

2019年11月、過去に制作された小さいサイズのまんが電子書籍画像を文字や線のガタつきを抑えて滑らかに拡大する技術「eComicSR」を開発しました。

出版各社は伸長する電子書籍市場へのコミックスの供給に力を入れており、まんが電子書籍には、高解像化が進むタブレットやスマートフォンへの対応が求められていました。「eComicSR」の利用により、表示サイズが大きな端末でも自然に見える、高品質なまんが電子書籍画像の生成が可能となります。現在、出版社を中心に提案を進め、まんが関連の受注拡大に努めています。



超解像変換前(各左)と変換後(各右)の画像比較

## 子会社TOMOWEL Payment Service株式会社が法人向けプリペイドカードサービス「Bizプリカ™」の販売開始

2019年11月、当社の100%子会社で決済ソリューション事業を展開するTOMOWEL Payment Serviceが、従業員への個別経費立て替えや仮払金、小口現金などを削減・軽減する、法人向けプリペイドカードサービス「Bizプリカ」の販売を開始しました。業務効率化はもちろん、キャッシュレス化の実現にも貢献する、経費精算から「働き方改革」を支援するサービスです。2020年2月には、出張・経費管理システム世界最大手の株式会社コンカーとサービス連携し、相互マーケティングを開始。3月には、株式会社ラクスが提供するクラウド型経費精算システム「楽楽精算」とのサービス連携も開始しました。3月末時点での「Bizプリカ」導入企業は100社を超えています。今後も引き続き営業活動を推進していきます。



## 新会社 共同フレハブローボトル株式会社の事業を開始

2019年11月、ブローボトルの製造を目的に設立した共同フレハブローボトル株式会社が事業を開始しました。同社では、主にケチャップなどの食品向け中容量・大容量のブローボトルを製造します。当社は従来よりわさびなどの小容量ブローチューブの製造を行っていますが、これにより、一般家庭向けから業務用まで、さまざまなサイズの食品ブローチューブ・ボトルに対応できるようになりました。当グループは、生活・産業資材部門の拡大を重点施策と位置付けています。今後、当グループ内でのシナジーを発揮し、企業価値のさらなる向上を図っていきます。



ブローエース®

## 本社新社屋の建設に着手 “次の100年”を支えるグループの拠点を整備

当社は築後80年が経過した本社社屋・小石川工場の耐震性およびセキュリティの強化、職場環境改善による効率性の向上などを総合的に勘案して建て替えを決定し、2019年2月より旧社屋の解体工事を進めてきました。2020年3月に解体工事が終了し、本社新社屋の建設に着手しました。新社屋は、多様な省エネ技術で地球環境へ配慮し、より快適で効率的な働き方を実現するオフィス環境と、非常時に備えた設備環境を構築する予定で、2022年3月末の完成をめざしています。



竣工後イメージ

## CSR活動のご報告

### 食の安心・安全を守るシステムを構築 守谷第一工場が「FSSC22000」の認証を取得



生活・産業資材部門の主力工場である守谷第一工場では、お客さまに安心・安全な包装材料をお届けする体制の構築に努めています。各種取り組みが認められ、2019年11月21日付けで、食品安全マネジメントシステムに関する国際規格「FSSC22000」の認証を取得しました。FSSC22000は、大手食品メーカーや製造業を中心に設立された世界規模の食品安全に関するネットワーク「GFSI(Global Food Safety Initiative)」によって認証を受けた、食品安全マネジメントの国際規格です。当社の製造環境が規格を満たすものとして確認され、「食品用途軟包装材(プラスチック、紙、アルミ箔)の製造」の認証を受けました。

守谷第一工場/軟包装棟(写真左)では、中容量フレキシブルコンテナ「ハンディキューブ®」(写真右)など液体用パッケージの製造を行っています。フィルム製で軽く簡単に折りたためるこの製品は、災害時の非常用給水袋としても利用されています。

今後も、お客さまの要望に応えると共に、社会に貢献できる製品づくりを進めていきます。



当グループのCSRの取り組みを記載した「CSR報告書2019」の送付をご希望の方は、以下までご連絡ください。

共同印刷(株)コーポレートコミュニケーション部  
Email:koho@kyodoprinting.co.jp  
Fax:03-3816-5003

## 会社情報

商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業	1897(明治30)年6月25日
設立	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071(コーポレートコミュニケーション部)

## 役員 (2020年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役社長	藤森 康彰
取締役 専務執行役員	清水 市司
取締役 専務執行役員	渡邊 秀典
取締役 常務執行役員	里村 憲治
取締役 常務執行役員	松崎 広孝
社外取締役	高岡 美佳
社外取締役	内藤 常男

### 監査役

常勤監査役	塩澤 幹彦
常勤監査役	布施 光浩
社外監査役	徳岡 卓樹
社外監査役	古谷 昌彦

## グループ会社

### 情報コミュニケーション部門

株式会社コスモグラフィック / 共同印刷製本株式会社 / デジタルカタパルト株式会社 / 共同日本写真印刷株式会社 / TOMOWEL Promotion株式会社

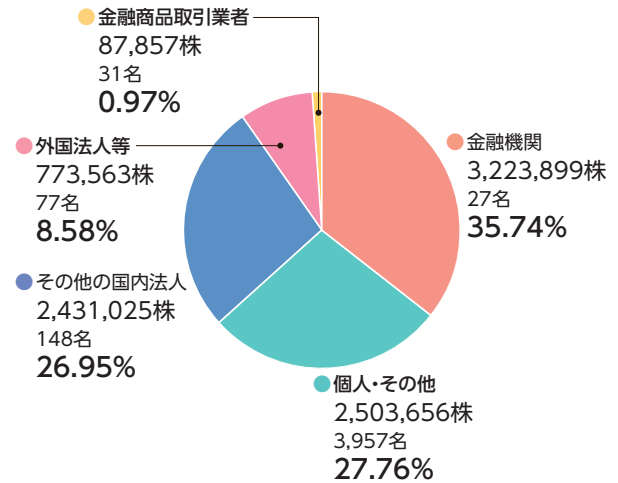
### 情報セキュリティ部門

共同印刷西日本株式会社 / 共同エフテック株式会社 / TOMOWEL Payment Service株式会社

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式総数	9,020,000株 (うち自己株式373,585株)
株主数	4,240名

### 株主構成(株式数比率)



### 生活・産業資材部門

常磐共同印刷株式会社 / 共同NPIパッケージ株式会社 / 共同クレハプロボトル株式会社 / 共印商貿(上海)有限公司 / KYODO PRINTING(VIETNAM) CO.LTD. / PT Arisu Graphic Prima

### その他

共同物流株式会社 / 共同総業株式会社 / 共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社  
(関連会社) 共同製本株式会社

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日
(株主確定日)	中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-782-031 (平日9:00~17:00)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
証券コード	7914
電子公告掲載	共同印刷株式会社ウェブサイト <a href="https://www.kyodoprinting.co.jp/">https://www.kyodoprinting.co.jp/</a>

**住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について**  
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

**未払配当金の支払いについて**  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

**「配当金計算書」について**  
配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましては、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

## Webサイトのご案内

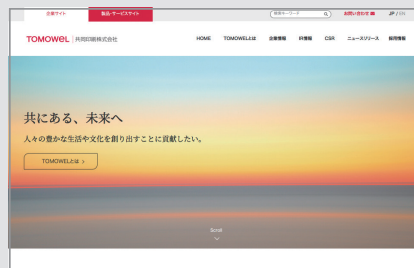
Webサイトの速報性をいかに、早く、そして分かりやすく、ステークホルダーの皆さまに情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.kyodoprinting.co.jp/>

または

共同印刷

検索



スマートフォンからも  
ご覧いただけます